



Cool Yamagata 広告デザインの草分け
東海林繁展

Shoji Shigeru Exhibition

2022年6月24日(金)～26日(日)

開館時間 9:00～16:30 ※最終日は15:00まで 入場料 無料 展示会場 山形県郷土館 文翔館 ギャラリー1・2・3・4

主催：東海林繁展実行委員会 後援：山形県、山形県教育委員会、山形新聞・山形放送 協力：鶴岡市郷土資料館
写真：伊藤トオル デザイン：株式会社ユニグラフィック
東海林繁（ZAO(Ⅱ)）(部分) 1960年代 水彩／紙・パネル



「お父さんの旗だ〜！」

その旗がテレビに映し出されるたび、幼いわたしはそう言って誇らしく思ったものです。山形を象徴する三つの白い山並みはいまなお、ふるさとの空にはためき、輝き続けています。「文翔館」この廊下を歩いたはずの父。この建物のどの部屋で賞状をいただいたのでしょうか。遺した作品をこの部屋いっぱい飾る…そんな夢のような巡りあわせが、今現実になります。山形の風土を見つめる優しいまなざしとカッコいい山形、それが私の父です。

(娘・こずえ)

写真：東海林繁氏(ナイアガラの滝の前)／1972年頃

東海林繁 略歴

Shoji Shigeru Profile

- 山形県天童市田麦野出身 昭和9年生まれ
- 昭和34年 山形大学教育学部卒業
- 昭和35年～ 山形県内中学校・養護学校教諭 美術担当
- 昭和37年 二科展 商業美術部 入選
- 昭和38年 山形県旗公募 入選
- 昭和39年 朝日村 村章 入選
- 昭和41年 山形県芸術祭ポスター 入選
- 昭和43年 第11回山形県宣伝美術展 宣伝美術賞受賞 (作品/ZAO)
- 昭和54年 第17回全国展 入選 (作品/沐浴の形)
- 昭和56年 永眠 享年48歳

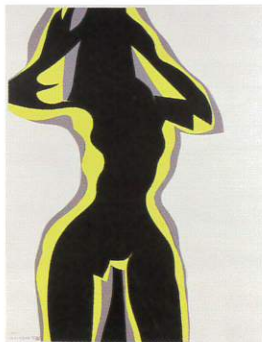
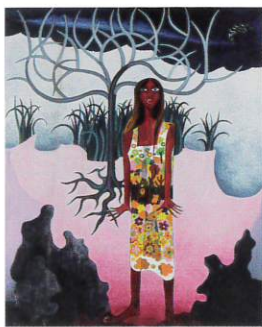
東海林繁の仕事

Shoji Shigeru Design

東海林繁が手掛けた山形県旗公募入選作品は、中央の三つの三角形で山形県の山々を表し、同時に最上川の流れも表しています。白抜きは、蔵王の樹氷など山々の雪を示して純朴な県民性を象徴させ、その鋭角的なところに山形県の発展を意味させたものです。県旗はこの図案を更に検討し、地色の部分を濃い青味緑として昭和38年3月26日に正式に制定されました。(※)

(参考) 国立国会図書館レファレンス協同データベース

(※) その後一部改正があり、地色が明るい青色とされ、昭和46年4月16日から施行されている。



① 《こずえちゃん》1973年 ペン画／絵日記 20.5×14.6cm
 ② 《サマードレス》1970年代 油彩／キャンバス 162×130.3cm
 ③ 《沐浴の形》1979年 切り絵／紙・パネル 116.7×91cm (昭和54年 第17回全国展 入選)



「東海林家に保管されている旗」

昭和38年山形県旗公募入選の際、副賞として頂戴したものと記憶している。(妻・美子談)

県旗制定の経緯について

昭和37年12月	図案を公募 応募者数 332名 応募点数 486点
昭和38年 2月	審査会 入選：東海林(しよじ)繁氏
昭和38年 3月	県旗制定(昭和38年3月26日山形県告示第267号)
昭和46年 5月	県旗改正(昭和46年4月16日山形県告示第478号)

(出典)山形県公式ホームページ

東海林繁展 鑑賞ツアー

実施日：2022年6月24日(金)
 時間：往路／ぼんぼこ発(9:30) → 文翔館着(10:10)
 復路／文翔館発(11:20) → ぼんぼこ着(12:00)
 申込方法：天童市立高原の里交流施設「ぼんぼこ」(天童市大字田麦野381)へ
 直接またはお電話(023-656-2955)
 申込締切：6月12日(日) ※参加無料／定員：4名



東海林繁展実行委員会
 URL <https://shigeru-sjimdo.free.com/>
 展覧会についてのお問合せ
 090-2279-7110(安藤)

QRコード: 展覧会サイト, Instagram, お問い合わせ

文翔館

〒990-0047 山形県山形市旅籠町3丁目4-51
 Tel.023-635-5500

【徒歩】・JR山形駅から徒歩30分
 【バス】・JR山形駅から市役所経由路線バス乗車約10分、「山形市役所前」下車徒歩1分
 ・JR山形駅からベニちゃんバス乗車約8分、「市役所南口」下車徒歩5分
 【車】・山形自動車道「山形蔵王IC」から約10分 ※文翔館北側に無料駐車場(約40台)がございます。